

# 集中豪雨に備えましょう

まもなく梅雨に入り、続いて台風もやってくる。台風や大雨は、大きな災害をもたらします。

災害は、いつどこで起こるかわかりません。日ごろから災害に対して心構えや準備をおきましょう。

**1 天気予報や気象情報チェック**  
天気予報を確認し、天気の移り変わりに気を配りましょう。

**2 非常食や非常持出品を準備**  
非常食は最低3日分確保。また、非常持出品として、懐中電灯やラジオなどを用意しましょう。

**3 避難先や避難経路を確認**  
指定された避難先と、自宅からそこまでの徒歩での避難経路を確認しましょう。

**4 大雨や台風に向けて家のまわりを点検整備**  
雨戸や屋根などに傷みがないか、また、排水溝のつまりなどを確認しましょう。

**5 防災情報の取得手段を確保**  
防災情報は、防災行政無線、防災ラジオ、携帯電話のメールサービス(緊急速報メールや京都府防災・防犯メールシステム)、テレビ、ラジオなどで取得できます。使用方法などを一度、確認しましょう。

**6 防災ハザードマップを活用**  
マップには、避難先や避難経路、防災情報の取得方法などが記載されています。

**前兆現象を確認したら避難**  
川の近くで、まわりの空が真っ黒になる、または警告のサイレン音が聞こえる、雷鳴や稲妻を確認、冷たい風が吹き出す、大粒の雨やひょうが降り出す

## 避難情報へ警戒レベルを導入します

昨年発生した7月豪雨を踏まえた「避難勧告等に関するガイドライン」の改訂にともない、今後市等から発令する避難情報に警戒レベルが使用されます。

### 警戒レベルとは?

出された情報から居住者等がとるべき行動を直観的にわかるように伝達することを目的として、1~5の5段階(下表)に区分されています。これから梅雨や台風等による水害・土砂災害の発生する可能性が高い時期になります。各警戒レベルの内容を必ずご確認ください。災害の発生が予想される際には、テレビやインターネット等を活用して積極的に情報入手し、自発的な避難行動につなげてください。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報(※1) (※1) 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令(市町村が発令)
4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急)(※2) (※2) 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令(市町村が発令)
3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある人、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始(市町村が発令)
2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報・大雨注意報等(気象庁が発表)
1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(気象庁が発表)

## 緊急地震速報訓練と「八幡市シェイクアウト訓練」を同時に実施

6月18日(火)午前10時~

緊急時において、迅速かつ確実な情報伝達が実施できるよう、緊急地震速報訓練が実施されます。

また、同訓練に合わせてシェイクアウト訓練(防災一斉行動訓練)を実施します。大阪府北部地震の発生から1年が経つ今、自宅や会社などで防災対策を確認するきっかけとして、ぜひご参加ください。

### 緊急地震速報訓練

八幡市防災行政無線より訓練用の緊急地震速報が流れます。放送を確認した際には、姿勢を低くし、頭を守る、安全な場所に移動するなど、身の安全を確保する行動を実践してみましょう。

なお、緊急地震速報訓練は今

年度中に2回(6月18日、11月5日)、全国で一斉に実施される予定です。2回目も実施日が近づきましたら、詳細をお知らせします。

▼放送内容 「(チャイム)こちらは八幡市です。ただいまから訓練放送を行います。(緊急地震速報チャイム音)緊急地震速報。大地震です。大地震です。これは訓練放送です。(3回繰り返し)。こちらは八幡市です。これで訓練放送を終わります。(チャイム)」

### 八幡市シェイクアウト訓練

▼場所 家庭や学校、職場などのそれぞれの場所

▼対象 市内在住、在勤・在学者等当日市内にいるすべての人

### 訓練の流れ

- ①緊急地震速報訓練放送
- ②地震の揺れから身を守る3つの行動「体を低くし」、「頭を守り」、「動かない」を約1分間実施。
- ③数分後に、訓練用の緊急速報メールを受信し、内容を確認。

### ▼緊急速報メールについて

本訓練への参加の有無にかかわらずメールは受信されます。また、マナーモードに設定していても音が鳴る場合があります(機種によっては受信しない場合があります)。

同日同時刻に近隣市町でも訓練が実施されますので、同様のメールが携帯電話に複数受信される可能性があります。

### ▼訓練について

シェイクアウト訓練は、市民の皆さんの自発的な訓練参加を大切にしています。また、訓練参加の意思を示していただくことが、効果的な防災啓発につながりますので、参加者数や参加団体の事前申込みをお願いいたします。

- ①参加団体名(個人名)、②人数、③ホームページ等に参加団体名等を掲載することの可否を電話またはFAXで防災安全課へ。記入用紙は市役所窓口へ設置、市ホームページからもダウンロードできます。

別途詳細を通知予定。

## 防災行政無線 テレホンサービス

市では、避難勧告等の発令を、市内に設置している屋外スピーカーからお伝えしていますが、大雨等の気象条件では、聞き取りにくい場合があります。

そこで、放送が聞き取れなかった場合には、防災行政無線テレホンサービスに電話をかけることで放送内容を確認することができます。

☎982-2484、982-2485

## 防災デイキャンプの参加者を募集

防災知識を身につけよう!

子どもを対象とした、体験型防災訓練を実施します。

日時 7月28日(日)午前10時30分~午後3時30分(予定) ※昼食はアルファ化米のおにぎりとお水を用意しています。

場所 八幡小学校

内容 かまどベンチ等防災用設備の取扱い、災害時に使えるダンボール等工作、アルファ化米でおにぎりを作ろう等※内容を

④深さに注意  
⑤要配慮者に配慮を  
⑥ゲリラ豪雨に注意  
短時間で狭い範囲に強い雨を降らせる「局地的大雨」や「集中豪雨」は発生の予測が難しいことから、通称「ゲリラ豪雨」と呼ばれています。

水害の特徴としては、「河川の氾濫」「急な増水」「低い土地が水に浸かる」などがあります。

河川に遊びに行くとき

防災安全課 ☎982-270000  
FAX 982-700000

希望者に土のうを配布  
水害から住宅等を守るため、希望者に土のうを無償で配布します。急な雨の場合、配布が間に合わない可能性がありますので、事前に準備をお願いします。

対象 市内在住者  
配布数 1世帯10袋を限度  
☎引き渡し期間 6月3

日(月)~7日(金)午前9時30分~午後5時(引き渡しは午後6時まで)  
※電話または、窓口でお申し込みください。なお、土のうがなく次第、終了させていただきます。

## 防災豆知識

① ② ③

【第1問】避難時、家を出るときに電気のブレーカーを落とす理由はどれ?

- ①電気代の節約のため
- ②避難所に電力を供給するため
- ③復旧した際の火災を防ぐため
- ④盗電を防ぐため

【第2問】災害用伝言ダイヤルは次の電話番号のうちどれ?

- ①110 ②177 ③171 ④117

### 5月号解答

【第1問】②部屋や玄関のドアを開ける等出口の確保...大きな地震では揺れによって入口がゆがみ、ドアや窓が開かなくなってしまうことが想定されます。揺れが収まったら、ドアを開ける等出口を確保することが重要です。

【第2問】①~④全て...放送内容は①テレホンサービスまたは、④市ホームページで確認できます。また、閉め切った屋内等、環境によって内容が聞こえにくい場合がありますので、②窓際や屋外に移動したり、前もって③防災ラジオ(有償にて配布)を準備するなど情報入手しましょう。